



2022年3月期 第2四半期 決算説明会

2021年11月10日

石油資源開発株式会社
(証券コード：1662)

目次

- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況**
- II. 2022年3月期 第2四半期決算の概要**
- III. 2022年3月期 業績予想の概要**

-
- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況**
 - II. 2022年3月期 第2四半期決算の概要
 - III. 2022年3月期 業績予想の概要

業績ハイライト

■ 22年3月期 第2四半期決算（前年同期比）

単位：億円	21/3月期 2Q (a)	22/3月期 2Q (a)	比較増減	
営業利益	△62	95	+158	-
経常利益	△68	193	+261	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△69	△1,196	△1,127	-

- ・ 営業利益：（E&P事業）原油価格上昇による国内収支改善や希釈ビチューメン販売収支の改善
（I/U 事業）福島天然ガス発電所*の通期稼働にともなう電力販売量増加
- ・ 特別損失： 権益譲渡損442億円（カナダ・シェールガス）、子会社株式売却損941億円（カナダ・オイルサンド）計上

* 当社を含む民間5社が事業パートナーとして出資する福島ガス発電(株)（当社出資比率33%）が運用管理を実施

■ 22年3月期 業績予想修正（8/10公表予想比）

単位：億円	8/10公表予想 (f)	11/9公表予想 (f)	比較増減	
営業利益	118	166	+47	+40%
経常利益	261	283	+22	+9%
親会社株主に帰属する当期純利益	△1,140	△698	+441	-

- ・ 営業利益：（E&P事業）国産天然ガスの販売量の増加および販売価格の上昇
（I/U 事業）LNG調達差益の増加
- ・ 特別損益： 投資有価証券売却益398億円の計上を見込む

■ 株主還元

- ・ 2022年3月期1株当たり配当について、従来予想を維持 年間50円（中間25円・期末25円）
- ・ 3百万株または80億円を上限とする自己株式取得を決定

政策保有株式の縮減および株主還元

INPEX株式の一部売却

- 資産効率向上の観点などからINPEX株式の一部を売却し保有比率を引き下げ
- 11月8日のToSTNeT-3で売却、投資有価証券売却益 398億円（特別利益）を今期第3四半期に計上予定
- 売却収入505億円を株主還元と成長投資に配分

売却前の所有株式数 106,893,200株（発行済株式総数に対する割合：7.32%^{*1}）

売却株式数 53,446,600株（1株あたり946円）

売却後の所有株式数 53,446,600株（発行済株式総数に対する割合：3.80%^{*2}）

自社株買いの実施

- 上記売却収入の一部を自己株式取得に充当して株主に還元するとともに、資本効率を改善
- 取得する自己株式の全数を消却

取得する自己株式 3,000,000株^{*3}（上限）または80億円（上限）

取得方法 自己株式取得に係る取引一任契約に基づく市場買付

取得期間 2021年11月10日～2022年11月9日

成長投資の原資確保と株主還元の
バランスを取りつつ、
資産・資本両面の効率化を目指す

注) *1：INPEXの2021年9月30日時点の自己株式 1,966,500株を減算した株式数 1,460,357,100株に対する割合

*2：INPEXの2021年9月30日時点の自己株式 1,966,500株ならびに同社が2021年11月8日のToSTNeT-3で取得した自己株式 53,446,600株を減算した株式数 1,406,910,500株に対する割合

*3：当社の2021年10月31日時点の発行済株式総数から自己株式2,382株を減算した株式数57,152,394株の5.25%に相当

22年3月期 これまでの主な事業進捗

E&P事業

【国内生産量維持・埋蔵量追加】

- ・新潟県・片貝ガス田追加開発を決定（4月）

【事業ポートフォリオ見直し】

- ・カナダ・シェールガスプロジェクト権益譲渡を決定（5月）※7月に権益譲渡手続き完了
- ・カナダ・オイルサンドプロジェクト事業終結を決定（7月）※9月にプロジェクト会社株式売却手続き完了

インフラ・ユーティリティ（I/U）事業

【再生可能エネルギー】

- ・非FITを見据えた国内太陽光発電プロジェクト対象「PHOTONサステナブルソーラー投資事業有限責任組合」を設立（9月）
- ・山口県・長府バイオマス発電プロジェクトへの当社を含む参画各社による出資およびSPCによる事業推進を決定（9月）
- ・北海道・網走バイオマス発電プロジェクト（2号機および3号機）へ参画（9月）

【新規ガス需要開拓およびLNG調達が多様化】

- ・日本ベーリンガーインゲルハイム製薬(株)山形工場向けの天然ガス活用前提のエネルギー・サービス・プロバイダ契約を締結（6月）
- ・日本製鉄(株)/日鉄セメント(株)向け石灰石運搬船への燃料用LNG供給契約を締結（9月）
- ・当社初のカーボンニュートラルLNGを相馬LNG基地で受け入れ（10月）

新規事業

【CCS/CCUSおよびカーボンリサイクル】

- ・新潟県・東新潟ガス田におけるCO₂有効活用に関する三菱ガス化学(株)との共同検討を開始（5月）
- ・インドネシア・スコワティ油田における二国間クレジットを活用したCCUSプロジェクトの事業性評価の共同検討に合意（6月）
- ・CO₂や水素・アンモニアなどのエネルギー輸送供給インフラの技術課題に関するJFEエンジニアリング(株)との共同検討を開始（6月）
- ・NEDO受託事業「苫小牧を拠点とする産業間連携調査」の一環として、苫小牧エリアにおけるカーボンリサイクル技術導入シナリオの具体化に向けた「苫小牧産業間連携検討会議」を設置（9月）

22年3月期 これまでの主なESG施策の進捗

E 環境 (Environment)

【低炭素化への貢献】

- ✓ 2050年カーボンニュートラル社会の実現に向けた対応方針「JAPEX2050」を策定（5月）
- ✓ 国内油ガス田操業におけるカーボンニュートラル対応強化のための組織設置（10月）
- ✓ ESG開示情報に対する第三者評価取得（9月）

S 社会 (Social)

【魅力ある職場づくり】

- ✓ 在宅勤務制度を正式に導入（4月）
- ✓ 本社における新型コロナウイルスワクチン職域接種の実施（7-8月）

G ガバナンス (Governance)

【経営体制の強化】

- ✓ 経営リスク委員会・サステナビリティ委員会の設置（4月）

【今期取得した外部評価】

- ✓ MSCI日本株女性活躍指数（WIN）選定（6月）
- ✓ 格付投資情報センター（R&I）格付新規取得：長期A+（安定的）／短期a-1（10月）

-
- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況
 - II. 2022年3月期 第2四半期決算の概要**
 - III. 2022年3月期 業績予想の概要

E&P事業 販売実績【前年同期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	21/3月期 2Q (a)		22/3月期 2Q (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
E&P事業	-	-	37,547	-	49,820	-	-	+12,273	+33%

(内訳)

原油	千KL	1,126	28,452	345	17,494	△781	△69%	△10,957	△39%
- 国産原油		138	3,726	154	7,465	+16	+12%	① +3,739	+100%
- 海外原油* ¹		187	4,701	176	9,358	△11	△6%	② +4,656	+99%
- 買入原油		800	20,024	13	671	③ △786	△98%	△19,353	△97%
希釈ビチューメン* ²		613	7,757	959	31,121	④ +346	+56%	+23,363	+301%
天然ガス・海外販売* ³	百万M3	229	1,336	128	1,204	△100	△44%	△132	△10%

主な増減要因

- ①販売価格の上昇
- ②イラク ガラフ油田 販売価格の上昇
- ③SODECO買入原油 収益認識基準適用による前期販売量の剥落
- ④カナダ ハンギングストーン鉱区 販売量の増加および販売価格の上昇

※権益譲渡にとまない、JAPEX Montney Ltd.による海外原油・天然ガス売上高は2021年1～3月の3か月分を計上

※Japan Canada Oil Sands Limitedの株式譲渡にとまない、希釈ビチューメン売上高は2021年1～8月の8か月分を計上

*1 海外連結子会社 株式会社ジャベックスガラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティー控除後の数値

*3 海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp.の数値

インフラ・ユーティリティ事業 販売実績【前年同期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	21/3月期 2Q (a)		22/3月期 2Q (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	43,982	-	46,382	-	-	+2,400	+5%

(内訳)

天然ガス・国内販売	百万M3	520	25,059	455	21,238	①	△64	△12%	△3,820	△15%
- 国産天然ガス		216	-	233	-		+16	+8%	-	-
液化天然ガス	千トン	94	6,475	96	8,186		+1	+2%	+1,710	+26%
電力	百万kWh	1,274	10,042	1,605	14,998	②	+331	+26%	+4,955	+49%
その他*	-	-	2,405	-	1,960		-	-	△445	△19%

主な増減要因

- ①収益認識基準適用による販売量の剥落、（前期）福島天然ガス発電所向け試運転ガス販売量の減少
- ②福島天然ガス発電所の通期稼働にともなう電力販売量の増加および販売価格の上昇

* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

決算概要【前年同期比】

単位：百万円	21/3月期 2Q (a)	22/3月期 2Q (a)	増減	
売上高	98,127	118,507	+20,380	+21%
売上総利益	8,884	25,784	+16,900	+190%
営業利益	△ 6,271	9,540	+15,812	-
経常利益	△ 6,837	19,349	+26,187	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 6,975	△ 119,676	△ 112,700	-

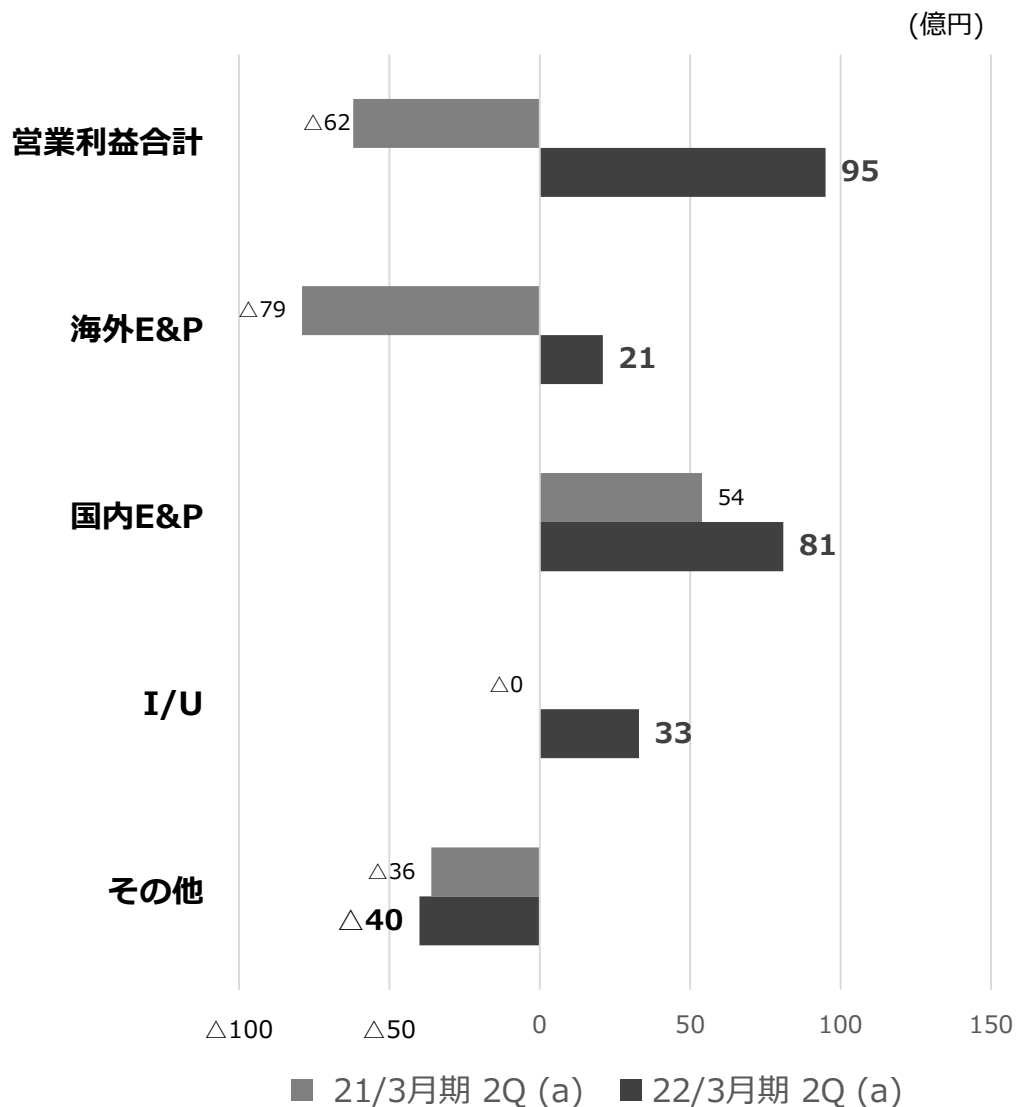
原油価格・為替・販売価格の実績

		21/3月期 2Q (a)	22/3月期 2Q (a)	増減
WTI	USD/bbl	39.59	62.21	+22.62
原油CIF(JCC)	USD/bbl	38.11	67.38	+29.27
為替	円/USD	107.46	109.15	+1.69
JACOS 希釈ビチューメン ^{*1}	USD/bbl	18.64	46.90	+28.26
JML 天然ガス ^{*2}	CAD/mcf	2.09	2.96	+0.87

*1 海外連結子会社Japan Canada Oil Sands Ltd.の希釈ビチューメン販売価格（ロイヤルティ控除後）

*2 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格（ロイヤルティ控除後）

営業利益概要【前年同期比】



E&P事業

- (海外) : +101億円 (△79億円 → 21億円)**
- 原油価格上昇による希釈ビチューメン販売収支の改善
- (国内) : +26億円 (54億円 → 81億円)**
- 原油価格上昇による収支改善

インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

- +33億円 (△0億円 → 33億円)**
- 福島天然ガス発電所の通期稼働にともなう電力販売量の増加

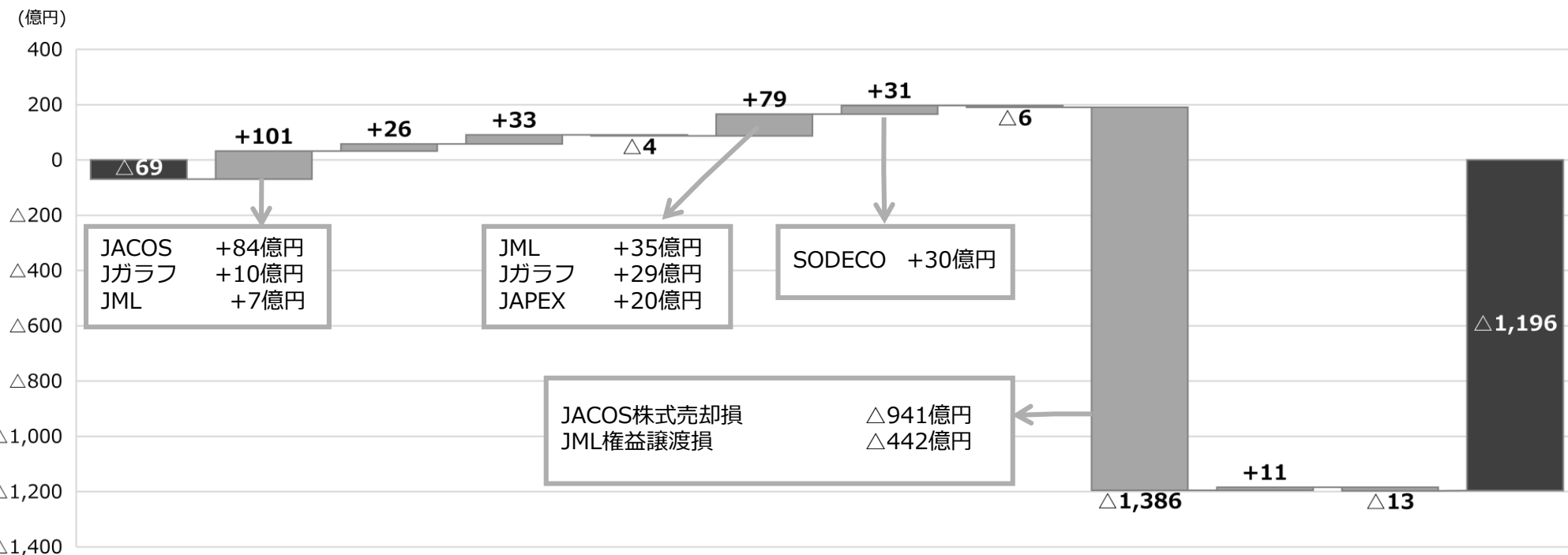
その他※

- △4億円 (△36億円 → △40億円)**
- 請負事業減益など

※ 上記事業部門に属さない営業利益（請負、石油製品・商品等）から本社管理費を控除した金額

*営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

純利益増減分析【前年同期比】



純利益	営業利益* +158億円					営業外損益 +103億円			特別損益	法人税等	非支配株主利益	純利益
	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差損益	持分法投資損益	その他					
21/3月期 2Q (a)	△79	54	△0	△36	△39	33	0	△0	6	△5		
22/3月期 2Q (a)	21	81	33	△40	39	64	△6	△1,386	△4	8		

*営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

-
- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況
 - II. 2022年3月期 第2四半期決算の概要
 - III. 2022年3月期 業績予想の概要**

E&P事業 販売予想修正【8.10公表予想比】

売上高単位：百万円	販売量単位	前回予想 (f) 8.10公表		今回予想 (f) 11.9公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量		売上高	
E&P事業	-	-	71,444	-	72,690	-	-	+1,246	+2%

(内訳)

原油	千KL	822	40,027	816	40,393	△6	△1%	+365	+1%
- 国産原油		285	13,628	286	13,923	+1	+1%	+294	+2%
- 海外原油* ¹		513	25,217	505	25,261	△7	△2%	+43	+0%
- 買入原油		24	1,181	24	1,208	+0	+1%	+27	+2%
希釈ビチューメン* ²		949	30,211	959	31,121	① +10	+1%	+910	+3%
天然ガス・海外販売* ³	百万M3	130	1,205	129	1,175	△0	△0%	△29	△2%

主な増減要因

①カナダ ハンギングストーン鉱区 販売量の増加および販売価格の上昇

*1 海外連結子会社 株式会社ジャペックスグラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティー控除後の数値

*3 海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp.の数値

インフラ・ユーティリティ事業 販売予想修正【8.10公表予想比】

売上高単位：百万円	販売量単位	前回予想 (f) 8.10公表		今回予想 (f) 11.9公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	108,899	-	112,602	-	-	+3,703	+3%

(内訳)

天然ガス・国内販売	百万M3	1,026	51,510	1,042	54,075	① +15	+2%	+2,564	+5%
- 国産天然ガス		491	-	502	-	+10	+2%	-	-
液化天然ガス	千トン	301	21,487	293	22,397	△7	△3%	② +910	+4%
電力	百万kWh	3,164	31,038	3,111	31,370	△53	△2%	③ +331	+1%
その他*	-	-	4,863	-	4,759	-	-	△103	△2%

主な増減要因

- ①販売量の増加および販売価格の上昇
- ②-③LNG価格想定の見直しなどによる販売価格の上昇

* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

業績予想修正【8.10公表予想比】

単位：百万円	前回予想 (f) 8.10公表	今回予想 (f) 11.9公表	増減	
売上高	220,789	235,098	+14,308	+6%
売上総利益	42,141	46,935	+4,793	+11%
営業利益	11,894	16,669	+4,774	+40%
経常利益	26,159	28,390	+2,231	+9%
親会社株主に帰属する当期純利益	△114,021	△ 69,847	+44,174	-

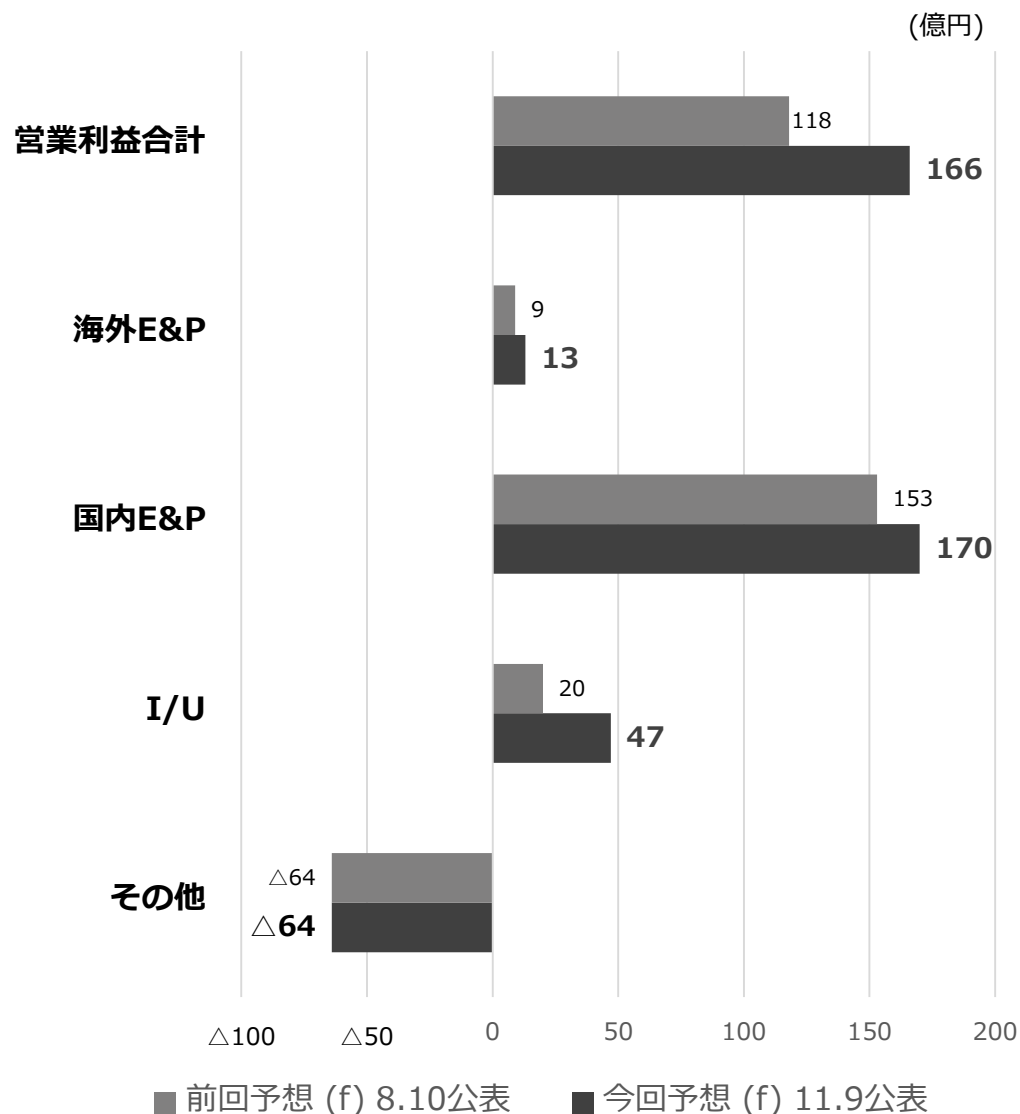
原油価格・為替・販売価格の実績

		前回予想 (f) 8.10公表	今回予想 (f) 11.9公表	増減
WTI	USD/bbl	64.38	64.06	△0.32
原油CIF(JCC)	USD/bbl	68.28	68.60	+0.32
為替	円/USD	108.12	108.60	+0.48
JACOS 希釈ビチューメン ^{*1}	USD/bbl	46.84	46.90	+0.06
JML 天然ガス ^{*2}	CAD/mcf	2.96	2.96	+0.00

*1 海外連結子会社Japan Canada Oil Sands Ltd.の希釈ビチューメン販売価格（ロイヤルティ控除後）

*2 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格（ロイヤルティ控除後）

営業利益概要【8.10公表予想比】



E&P事業

(海外) : +4億円 (9億円 → 13億円)

(国内) : +16億円 (153億円 → 170億円)

- ・ 国産天然ガス販売単価*の上昇

* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

インフラ・ユーティリティ事業 (I/U)

+26億円 (20億円 → 47億円)

- ・ LNG調達差益の増加

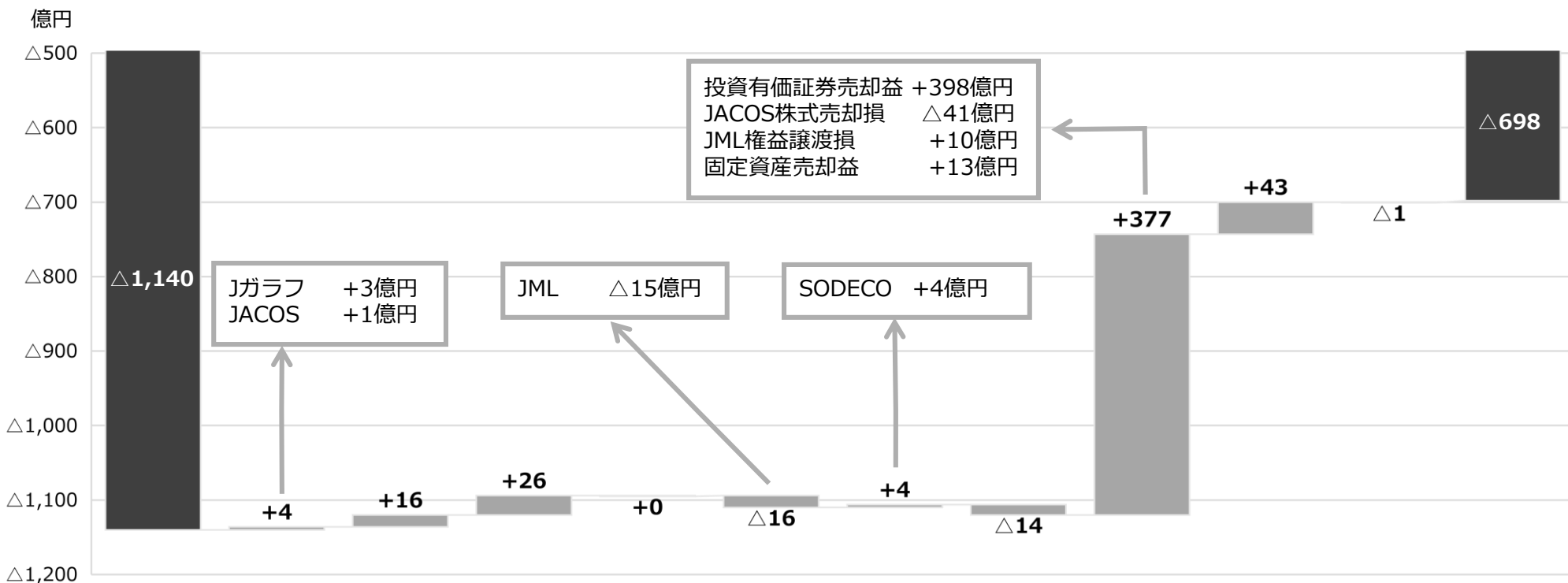
その他※

+0億円 (△64億円 → △64億円)

※ 上記事業部門に属さない営業利益 (請負、石油製品・商品等) から本社管理費を控除した金額

*営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

純利益増減分析【8.10公表予想比】



純利益	営業利益* +47億円					営業外損益 △25億円					純利益
前回予想(f) 8.10公表	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替 差損益	持分法 投資損益	その他	特別損益	法人税 等	非支配 株主利益	今回予想(f) 11.9公表
前回予想(f) 8.10公表	9	153	20	△64	42	101	△1	△1,337	54	8	
今回予想(f) 11.9公表	13	170	47	△64	26	106	△15	△960	11	10	

*営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

E&P事業 販売予想修正【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	21/3月期 (a)		22/3月期 (f) 11.9公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
E&P事業	-	-	97,482	-	72,690	-	-	△ 24,791	△25%

(内訳)

原油	千KL	2,313	72,916	816	40,393	△1,496	△65%	△32,523	△45%
- 国産原油		287	8,835	286	13,923	△1	△0%	① +5,088	+58%
- 海外原油*1		538	18,268	505	25,261	△33	△6%	② +6,992	+38%
- 買入原油		1,486	45,812	24	1,208	③ △1,462	△98%	△44,604	△97%
希釈ビチューメン*2		1,319	21,695	959	31,121	△360	△27%	④ +9,426	+43%
天然ガス・海外販売*3	百万M3	470	2,870	129	1,175	⑤ △340	△72%	△1,694	△59%

主な増減要因

- ①販売価格の上昇
- ②イラク ガラフ油田 販売価格の上昇
- ③SODECO買入原油 収益認識基準適用による前期販売量の剥落
- ④カナダ ハンギングストーン鉱区 販売価格の上昇
- ⑤カナダ・シェールガスプロジェクトの権益譲渡による販売量減少

*1 海外連結子会社 株式会社ジャベックスガラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティー控除後の数値

*3 海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp.の数値

インフラ・ユーティリティ事業 販売予想修正【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	21/3月期 (a)		22/3月期 (f) 11.9公表		増減	
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	101,301	-	112,602	-	+11,301 +11%

(内訳)

天然ガス・国内販売	百万M3	1,183	51,291	1,042	54,075	① △140 △12%	+2,783 +5%
- 国産天然ガス		528	-	502	-	△25 △5%	-
液化天然ガス	千トン	284	15,591	293	22,397	② +9 +3%	+6,805 +44%
電力	百万kWh	3,016	30,087	3,111	31,370	③ +94 +3%	+1,282 +4%
その他*	-	-	4,331	-	4,759	-	+428 +10%

主な増減要因

- ①収益認識基準適用による販売量の剥落、(前期) 福島天然ガス発電所向け試運転ガス販売量の減少、および販売価格の上昇
- ②販売量の増加および販売価格の上昇
- ③福島天然ガス発電 販売量の増加

* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

業績予想修正【前期比】

単位：百万円	21/3月期 (a)	22/3月期 (f) 11.9公表	増減	
売上高	240,078	235,098	△ 4,979	△2%
売上総利益	36,534	46,935	+10,400	+28%
営業利益	4,192	16,669	+12,476	+298%
経常利益	10,001	28,390	+18,389	+184%
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 2,725	△ 69,847	△ 67,121	-

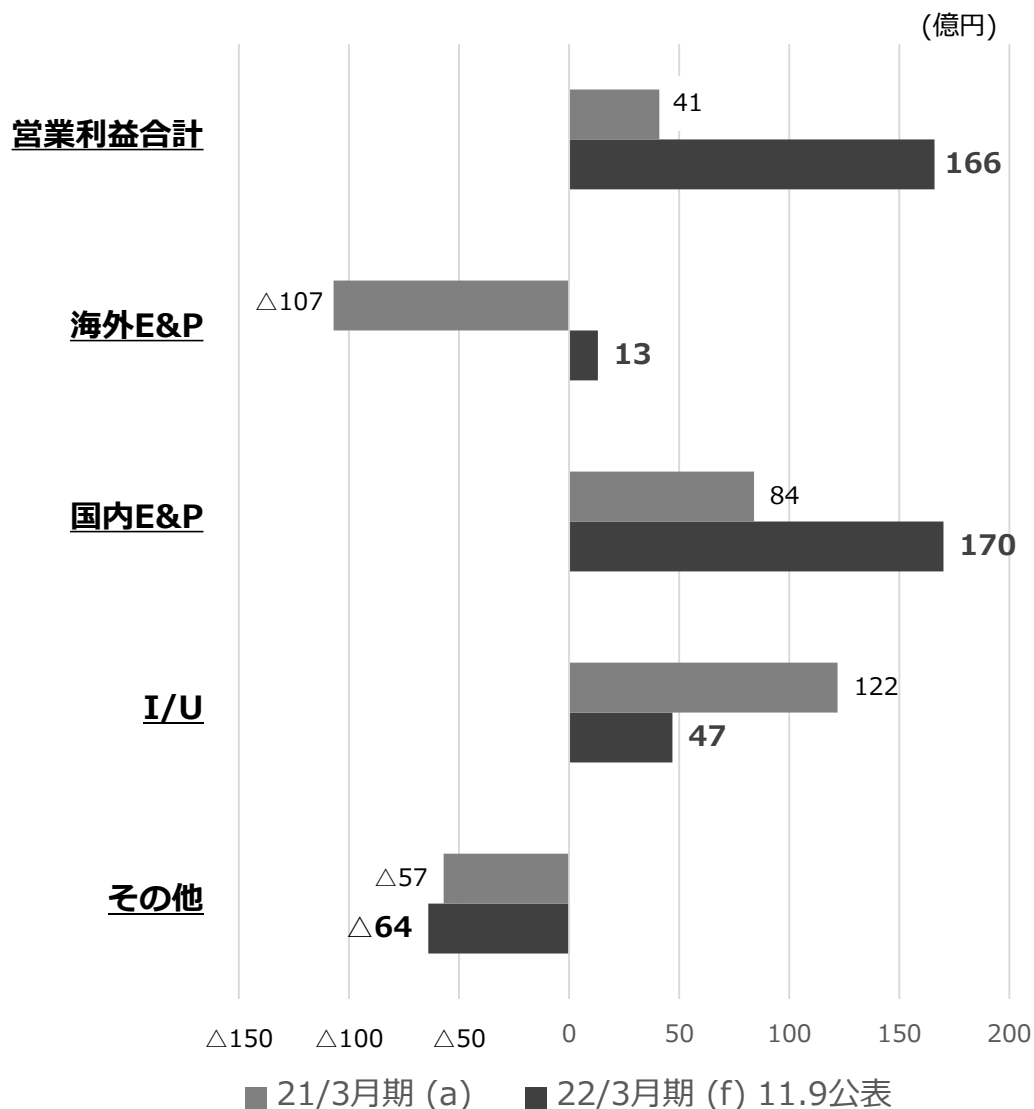
原油価格・為替・販売価格の実績

		21/3月期 (a)	22/3月期 (f) 11.9公表	増減
WTI	USD/bbl	40.87	64.06	+23.19
原油CIF(JCC)	USD/bbl	42.91	68.60	+25.69
為替	円/USD	105.86	108.60	+2.74
JACOS 希釈ビチューメン ^{*1}	USD/bbl	25.06	46.90	+21.84
JML 天然ガス ^{*2}	CAD/mcf	2.14	2.96	+0.82

*1 海外連結子会社Japan Canada Oil Sands Ltd.の希釈ビチューメン販売価格（ロイヤルティ控除後）

*2 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格（ロイヤルティ控除後）

営業利益概要【前期比】



E&P事業

(海外) : +121億円 (△107億円 → 13億円)

- 原油価格上昇および重軽格差の改善などによる希釈ビチューメン販売収支の改善

(国内) : +85億円 (84億円 → 170億円)

- 原油価格上昇による収支改善
- 国産天然ガス販売単価*の上昇

* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

インフラ・ユーティリティ事業 (I/U)

△75億円 (122億円 → 47億円)

- 前期JEPX取引価格高騰による一過性利益の反動減
- LNG調達差益の減少

その他※

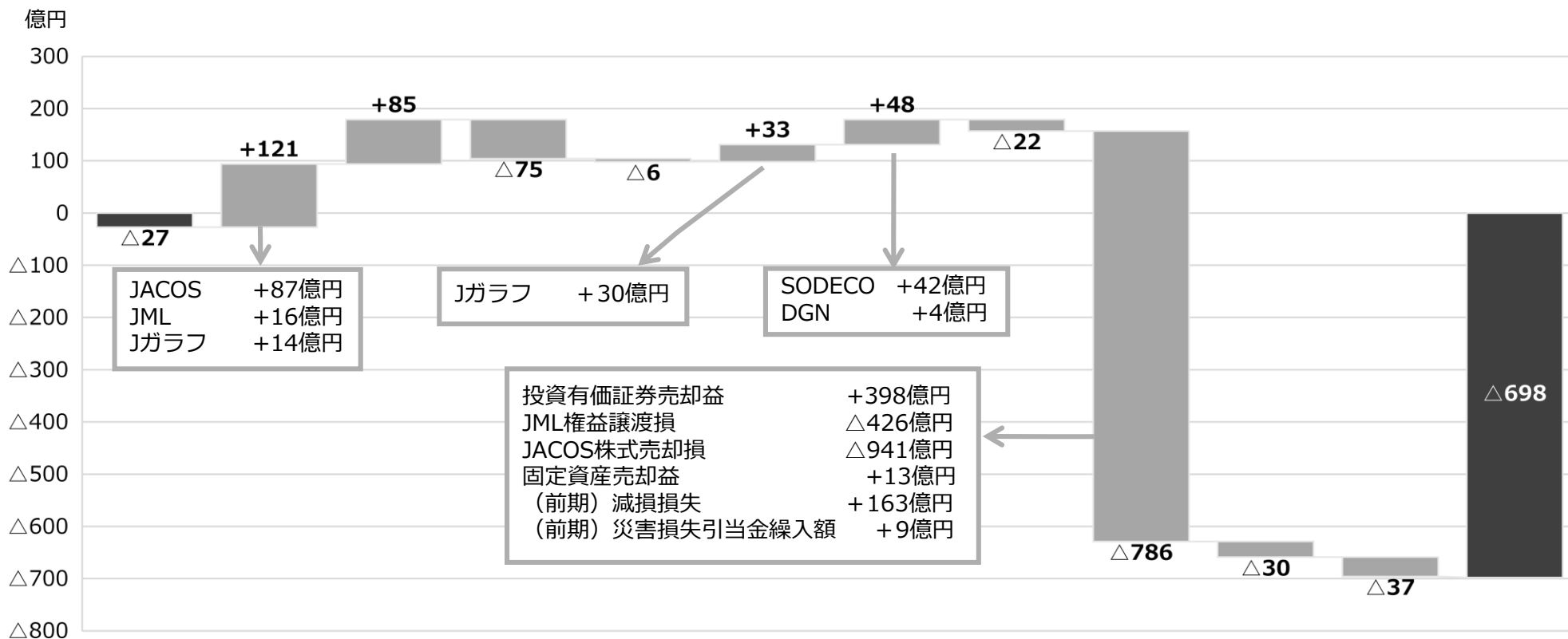
△6億円 (△57億円 → △64億円)

- 請負事業減益など

※ 上記事業部門に属さない営業利益 (請負、石油製品・商品等) から本社管理費を控除した金額

*営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

純利益増減分析【前期比】



純利益	営業利益* +124億円				営業外損益 +59億円			特別損益	法人税等	非支配株主利益	純利益
21/3月期 (a)	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差損益	持分法投資損益	その他				今回予想(f) 11.9公表
21/3月期(a)	△107	84	122	△57	△6	58	6	△173	△19	△26	
今回予想(f) 11.9公表	13	170	47	△64	26	106	△15	△960	11	10	

*営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

キャッシュ・フローおよび負債の状況

単位：百万円	21/3月期 (a)	22/3月期 (a)	21/3月期 (a)	22/3月期 (f)	
	2Q (累計)	2Q (累計)	通期	通期	
				8.10公表	11.9公表
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,769	△7,558	43,263	28,608	20,955
減価償却費	10,455	11,831	22,599	17,034	17,667
生産物回収勘定の回収	3,161	6,289	15,196	22,031	20,912
投資活動によるキャッシュ・フロー	△813	△625	△6,453	9,629	50,408
有形固定資産の取得による支出	△9,601	△8,310	△15,153	△14,223	△16,621
生産物回収勘定の支出	△10,810	△12,401	△14,971	△23,417	△26,462
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,616	△54,201	△15,626	△82,142	△70,265
現金及び現金同等物の期末残高	143,433	98,263	157,963	114,059	159,061

有利子負債*1	-	-	118,710	64,858	52,905
EBITDA*2	-	-	37,150	44,705	50,417
EBITDA有利子負債倍率 (倍)	-	-	3.2	1.5	1.1

*1 有利子負債は、リース債務、退職給付に係る負債および偶発債務を含む

*2 EBITDAは、営業利益、減価償却費、投資キャッシュフローにおける利息および配当金の受取額の合計額

参考資料

1. 売上高内訳
2. 損益の状況
3. セグメント損益
4. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）
5. 2022年3月期予想における原油価格・為替等のセンシティブティ
6. 事業拠点および主要事業紹介
7. 統合報告書およびIR関連資料
8. 用語集

1. 売上高内訳 E&P事業

金額：百万円	21/3月期				22/3月期				
	1Q	2Q	2Q累計	通期	1Q	2Q	2Q累計	通期 (f)	
								8.10公表	11.9公表
売上高	22,904	14,642	37,547	97,482	16,796	33,024	49,820	71,444	72,690
原油販売量 (千KL)	687	438	1,126	2,313	114	230	345	822	816
原油売上高	15,936	12,515	28,452	72,916	5,556	11,938	17,494	40,027	40,393
国産原油販売量 (千KL)	60	78	138	287	85	69	154	285	286
国産原油売上高	1,800	1,926	3,726	8,835	3,927	3,537	7,465	13,628	13,923
海外原油販売量 (千KL) *1	168	18	187	538	22	154	176	513	505
海外原油売上高	4,393	307	4,701	18,268	1,312	8,045	9,358	25,217	25,261
買入原油販売量 (千KL)	458	341	800	1,486	6	6	13	24	24
買入原油売上高	9,742	10,281	20,024	45,812	316	354	671	1,181	1,208
希釈ビチューメン販売量 (千KL)	410	203	613	1,319	351	608	959	949	959
希釈ビチューメン売上高*2	6,258	1,499	7,757	21,695	10,058	21,063	31,121	30,211	31,121
天然ガス海外販売量 (百万M3) *3	111	118	229	470	128	0	128	130	129
天然ガス海外売上高	709	627	1,336	2,870	1,181	22	1,204	1,205	1,175

WTI (USD/bbl)	45.10	27.94	39.59	40.87	58.10	66.07	62.21	64.38	64.06
原油CIF (USD/bbl) *4	44.41	33.34	38.11	42.91	64.25	71.31	67.38	68.28	68.60
為替 (円/USD) *4	108.04	106.88	107.46	105.86	108.43	109.96	109.15	108.12	108.60
希釈ビチューメン*2 (USD/bbl)	22.30	11.29	18.64	25.06	40.99	49.75	46.90	46.84	46.90
JML天然ガス*5 (CAD/mcf)	2.36	1.85	2.09	2.14	2.96	-	2.96	2.96	2.96

*1 海外連結子会社株式会社ジャベックスグラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤルティ控除後

*3 海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp.の数値

*4 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価実績および換算為替レート

*5 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格 (ロイヤルティ控除後)

1. 売上高内訳 インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

金額：百万円	21/3月期				22/3月期				
	1Q	2Q	2Q累計	通期	1Q	2Q	2Q累計	通期 (f)	
								8.10公表	11.9公表
売上高	20,997	22,985	43,982	101,301	23,009	23,372	46,382	108,899	112,602
天然ガス国内販売量 (百万M3)	248	271	520	1,183	233	222	455	1,026	1,042
天然ガス国内売上高	12,798	12,260	25,059	51,291	10,709	10,529	21,238	51,510	54,075
国産天然ガス販売量 (百万M3)	109	106	216	528	123	109	233	491	502
液化天然ガス販売量 (千トン)	53	41	94	284	52	44	96	301	293
液化天然ガス売上高	3,597	2,878	6,475	15,591	4,397	3,788	8,186	21,487	22,397
電力販売量 (百万kWh)	448	825	1,274	3,016	765	840	1,605	3,164	3,111
電力売上高	3,493	6,548	10,042	30,087	7,163	7,834	14,998	31,038	31,370
その他*	1,108	1,297	2,405	4,331	739	1,220	1,960	4,863	4,759

* 液化天然ガスの気化受託収入などを含む

2. 損益の状況

	単位：百万円	21/3月期				22/3月期				
		1Q	2Q	2Q累計	通期	1Q	2Q	2Q累計	通期 (f)	
									8.10公表	11.9公表
売上高		51,018	47,108	98,127	240,078	50,083	68,424	118,507	220,789	235,098
E&P事業		22,904	14,642	37,547	97,482	16,796	33,024	49,820	71,444	72,690
インフラ・ユーティリティ事業		20,997	22,985	43,982	101,301	23,009	23,372	46,382	108,899	112,602
その他		7,116	9,480	16,597	41,294	10,277	12,026	22,303	40,445	49,804
売上原価		48,619	40,623	89,242	203,543	38,904	53,818	92,722	178,647	188,163
売上総利益		2,399	6,485	8,884	36,534	11,179	14,605	25,784	42,141	46,935
探鉱費		206	180	387	989	132	120	252	680	474
販管費		7,443	7,325	14,769	31,352	7,647	8,344	15,991	29,566	29,791
営業利益		△ 5,250	△ 1,021	△ 6,271	4,192	3,400	6,140	9,540	11,894	16,669
営業外損益		△ 4,325	3,759	△ 566	5,809	7,091	2,718	9,809	14,265	11,721
受取利息		216	117	334	412	37	50	87	172	220
支払利息		△ 972	△ 809	△ 1,782	△ 2,529	△ 322	△ 982	△ 1,305	△ 824	△ 1,297
受取配当		49	1,283	1,332	2,823	48	2,138	2,186	3,635	3,393
持分損益		2,116	1,250	3,366	5,808	3,549	2,921	6,470	10,129	10,619
海投損繰入・戻入		85	85	171	342	92	85	177	253	253
為替差損益		△ 5,809	1,837	△ 3,971	△ 639	3,851	89	3,941	4,274	2,668
その他		△ 10	△ 6	△ 17	△ 408	△ 165	△ 1,584	△ 1,750	△ 3,376	△ 4,135
経常利益		△ 9,575	2,737	△ 6,837	10,001	10,491	8,858	19,349	26,159	28,390
特別損益		△ 3	△ 11	△ 15	△ 17,324	△ 1	△ 138,663	△ 138,665	△ 133,795	△ 96,004
税金等調整前当期純利益		△ 9,578	2,725	△ 6,852	△ 7,322	10,489	△ 129,805	△ 119,315	△ 107,636	△ 67,613
法人税		173	463	636	△ 1,923	2,832	△ 3,316	△ 484	5,487	1,170
非支配株主に帰属する当期純利益		△ 215	△ 298	△ 514	△ 2,673	550	294	844	897	1,063
親会社株主に帰属する当期純利益		△ 9,536	2,561	△ 6,975	△ 2,725	7,106	△ 126,782	△ 119,676	△ 114,021	△ 69,847

3. セグメント損益

単位：百万円		21/3月期				22/3月期				
		1Q	2Q	2Q累計	通期	1Q	2Q	2Q累計	通期 (f)	
									8.10公表	11.9公表
日本	営業利益	790	4,558	5,348	21,988	6,122	4,811	10,934	18,403	22,547
	持分法投資利益	157	27	185	△ 319	19	103	123	△ 214	32
北米	営業利益	△ 4,223	△ 3,268	△ 7,492	△ 9,374	△ 1,146	2,883	1,737	1,279	1,631
	持分法投資利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-
欧州	営業利益	△ 42	△ 18	△ 61	△ 132	△ 47	△ 34	△ 81	△ 219	△ 173
	持分法投資利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中東	営業利益	301	△ 83	217	165	537	676	1,214	1,255	1,645
	持分法投資利益	△ 2	0	△ 2	△ 10	△ 3	△ 2	△ 6	△ 10	△ 14
その他 ^{*1}	営業利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	持分法投資利益	1,961	1,223	3,184	6,138	3,534	2,820	6,354	10,354	10,601
調整額 ^{*2}		△ 2,075	△ 2,207	△ 4,283	△ 8,453	△ 2,066	△ 2,198	△ 4,264	△ 8,825	△ 8,982
連結損益算書計上額 ^{*3} 営業利益		△ 5,250	△ 1,021	△ 6,271	4,192	3,400	6,140	9,540	11,894	16,669

*1 持分法適用会社サハリン石油ガス開発株式会社およびEnergi Mega Pratama Inc.などを含む

*2 調整額の主な内容は、セグメント間取引消去および全社費用（主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および試験研究費）

*3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っている

4. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）

市況前提			2021年				2022年	通期
			1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
WTI	USD/bbl	前期実績	45.10	28.54	41.02	42.77	-	40.87
		当期実績・前提	58.10^{*1}	66.07^{*1}	69.85	-	-	64.06
原油CIF (JCC) ^{*2}	USD/bbl	前期実績	-	44.41	33.34	44.51	49.99	42.91
		当期実績・前提	-	64.25^{*1}	71.31^{*1}	70.00	70.00	68.60
為替 ^{*2}	円/USD	前期実績	-	108.04	106.88	105.46	104.03	105.86
		当期実績・前提	-	108.43^{*1}	109.96^{*1}	108.00	108.00	108.60

販売価格前提

JACOS 希釈ピチューメン ^{*3}	USD/bbl	前期実績	22.30	11.29	29.77	31.25	-	25.06
		当期実績・前提	40.99^{*1}	49.75^{*1}	51.26	-	-	46.90
JML 天然ガス ^{*4}	CAD/mcf	前期実績	2.36	1.85	1.89	2.43	-	2.14
		当期実績・前提	2.96^{*1}	-	-	-	-	2.96

*1 実績値

*2 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価実績および換算為替レート

*3 海外連結子会社Japan Canada Oil Sands Ltd.の希釈ピチューメン販売価格（ロイヤルティ控除後）

*4 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格（ロイヤルティ控除後）

5. 22年3月期予想における原油価格・為替等のセンシティブティ

	22/3月期 3Q-4Q 前提	変動幅	影響額（百万円）		主な変動項目 + 増益効果/△減益効果
			営業利益	親会社株主に 帰属する当期純利益 又は当期純損失	
原油価格	原油CIF価格 USD 70.00/bbl	USD 1 /bbl の価格上昇	△20	△20	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増
為替	108.00円/USD	1 円/USD の円安	160	80	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増

【前提】

- ・持分法適用会社の損益変動は、上記の影響額に含まれない
- ・為替変動の影響に関して、上記に示したものの以外に、外貨建金銭債権債務の為替レート換算差額が発生
また、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因に影響される

6. 主要事業概況：E&P事業（原油・天然ガス開發生産）

当2Q（7-9月）以降の主な動き

- ✓ カナダ・シェールガスプロジェクトの権益譲渡手続きを完了（7月）
- ✓ カナダ・オイルサンドプロジェクトの事業終結手続きを完了（9月）
- ✓ 国内油ガス田操業におけるカーボンニュートラル対応強化のため、国内事業本部に「低炭素化推進室」を設置（10月）

概 況

- 国内：北海道、秋田県、山形県、新潟県の油ガス田計10か所で原油・天然ガスを生産中／既存油ガス田の増産施策の検討継続
- 海外：原油・天然ガス開發生産プロジェクトに参画中／新規権益獲得検討継続

【当社が参画する主な海外E&Pプロジェクト】

セグメント	プロジェクト名（オペレーター）	プロジェクト会社（当社出資比率）	権益比率（当社Net）	状況	生産量 (2021年1月～6月平均)
欧州	英国北海・シーガルプロジェクト (Neptune E&P UK Limited)	JAPEX UK E&P Ltd. (100%)	15% (15%)	開発*1	-
中東	イラク・ガラフプロジェクト (PETRONAS Carigali Iraq Holding B.V.)	(株)ジャペックスガラフ (55%)	30% (16.5%)	生産/開発*2	日量7.8万bbl*3
その他	インドネシア・カンゲアンプロジェクト (Kangean Energy Indonesia Ltd.)	Energi Mega Pratama Inc. (25%)	100% (25%)	生産	日量473万m ³ (日量2.9万boe)
その他	ロシア・サハリン1プロジェクト (Exxon Neftegas Ltd.)	サハリン石油ガス開発(株) (15.29%)	30% (4.59%)	生産/開発	非開示

注) *1：2023年前半生産開始予定

*2：コロナ禍等の影響により、日量23万バレルへの増産達成時期は流動的

*3：連結会計期間の変更のため、2021年1月～9月平均

6. 主要事業概況：インフラ・ユーティリティ(I/U)事業（ガス供給・電力）

当2Q（7-9月）以降の主な動き

- ✓ 再生可能エネルギープロジェクトにかかる決定：長府バイオマス発電プロジェクト事業投資（9月）、網走バイオマス発電プロジェクト2&3号機参画（9月）、PHOTONサステナブルソーラー投資事業有限責任組合設立（9月）
- ✓ 日本製鉄(株)/日鉄セメント(株)向け石灰石運搬船への燃料用LNG供給契約を締結（9月）
- ✓ 当社初のカーボンニュートラルLNGを福島県・相馬LNG基地で受け入れ（10月）

概況

- ガス供給：当社国内ガス供給ネットワークを通じた天然ガス・LNGの安定供給／燃料転換需要への対応を含むガス拡販対応継続中
 - ・ 相馬LNG基地（福島県相馬郡新地町）では、隣接する福島天然ガス発電所からの発電燃料LNG気化送出受託業務を実施中
- 電力：稼働中発電所からの環境負荷の低い電力の安定供給／再生エネルギー開発・投資案件参画中および新規案件検討中

【当社が事業参画する発電所】

区分	発電所名（事業主体）	当社出資比率	所在地	出力合計	状況
天然ガス	福島天然ガス発電所（福島ガス発電(株)）	33%	福島県相馬郡新地町	118万kW	運転中
再エネ-太陽光	当社北海道事業所内メガソーラー	当社所有	北海道苫小牧市	0.18万kW	運転中
再エネ-太陽光	勇払太陽光発電所（ソーラーパワー苫小牧(株)）	20%	北海道苫小牧市	1.3万kW	運転中
再エネ-バイオマス	長府バイオマス発電所（長府バイオパワー合同会社）	39.9%	山口県下関市	7.495万kW	開発中
再エネ-バイオマス	網走バイオマス発電所2号機/3号機 （合同会社網走バイオマス第2発電所・第3発電所）	94.3%	北海道網走市	2機合計1.98万kW	開発中

【再エネ投資ファンドへの参画】

- PHOTONサステナブルソーラー投資事業有限責任組合（開発・稼働中の国内太陽光発電プロジェクトを投資対象、組入期間5年＋運用期間15年）

【検討参画中の電力プロジェクト】

- 検討コンソーシアム：(仮称)能代・三種・男鹿沖洋上風力発電事業、(仮称)秋田中央海域洋上風力発電事業、(仮称)遊佐町沖洋上風力発電事業

6. 主要事業概況：新規事業（環境配慮型事業の創出）

当2Q（7-9月）以降の主な動き

- ✓ NEDOから受託した「苫小牧エリアを拠点とするカーボンリサイクルプロジェクトの実現可能性調査事業」の一環で、カーボンリサイクル技術導入シナリオの具体化に向けた「苫小牧産業間連携検討会議」を設置（9月）

概 況

- CCS（Carbon dioxide Capture and Storage：CO₂の回収・貯留）/CCUS（Carbon dioxide Capture, Utilization, and Storage：CO₂の回収・有効活用・貯留）の早期の実用化と事業化に向けた検討
- CCS/CCUSとの連携が期待できる、カーボンニュートラルに関する協業や参入の検討

【参画中の主な実証試験・検討プロジェクトなど】

- 実証試験実施中
 - ・ 苫小牧における大規模CCS実証試験（日本CCS調査(株)への出資ならびに技術支援など）
- 事業可能性調査・検討中
 - ・ 北海道・苫小牧エリアを拠点とするカーボンリサイクルプロジェクトの実現可能性調査（NEDO受託事業、デロイトトーマツコンサルティング会社と共同実施）
 - ・ 新潟県・東新潟ガス田におけるCO₂-EOR/EGRの実現可能性調査（三菱ガス化学(株)との共同検討、同社新潟工場から排出されるCO₂との連携を前提）
 - ・ インドネシア・スコワティ油田における二国間クレジットを活用したCCUSプロジェクトの事業性評価共同検討（プルタミナ、レミガスとの共同検討）

7. 統合報告書およびIR関連資料

当社の統合報告書およびIR関連資料は以下からご覧いただけます。

➤ 統合報告書2021

https://www.japex.co.jp/ir/uploads/JAPEX_IR2021_j.pdf



➤ IR関連資料

IRライブラリ

<https://www.japex.co.jp/ir/library/>

- 決算短信
<https://www.japex.co.jp/ir/library/result/>
- 有価証券報告書・四半期報告書
<https://www.japex.co.jp/ir/library/report/>
- 決算説明資料
<https://www.japex.co.jp/ir/library/explanatory/>

➤ 業績・財務情報

<https://www.japex.co.jp/ir/figure/>

- 業績・財務10年データ (Excel形式)
https://www.japex.co.jp/ir/uploads/JAPEX_10yearFinancialData_j.xlsx

8. 用語集

■ 略語

BOE(D)	Barrels of Oil Equivalent (per Day)	石油換算バレル (日量)
CCS	Carbon dioxide Capture and Storage	二酸化炭素回収・貯留
CCUS	Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage	二酸化炭素回収・活用・貯留
CIF	Cost, Insurance and Freight	運賃、保険料込条件
FID	Final Investment Decision	最終投資意思決定
GHG	Greenhouse Gas	温室効果ガス
HSE	Health, Safety and Environment	労働安全衛生・環境
JCC	Japan Crude Cocktail	全日本平均原油輸入CIF価格
MH	Methane Hydrate	メタンハイドレート
RRR	Reserve Replacement Ratio	埋蔵量置換率
WTI	West Texas Intermediate	ウェスト・テキサス・インターミディエイト原油

■ 主要な子会社・持分法適用会社

JACOS※	Japan Canada Oil Sands Limited	カナダ・オイルサンドプロジェクト
JML	JAPEX Montney Ltd.	カナダ・シェールガスプロジェクト
Jガラフ	(株)ジャペックスガラフ	イラク・ガラフプロジェクト
EMPI	Energi Mega Pratama Inc.	インドネシア・カンゲアンプロジェクト
SODECO	Sakhalin Oil & Gas Development Co., Ltd.	ロシア・サハリン1プロジェクト
DGN	Diamond Gas Netherlands B.V.	マレーシアLNG ティガプロジェクト
FGP	福島ガス発電 (株)	天然ガス火力発電事業

※当第2四半期連結会計期間において、保有株式の全てを売却したため、連結の範囲から除外しております

注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。
事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

注)

- ・本資料においては、(a) は実績数値 (actual results) を、(f) は予想数値 (forecasts) を示しています
- ・営業利益、経常利益、持分法投資利益、親会社株主に帰属する当期純利益の「△」表記は、各利益における損失を表しています

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします

石油資源開発株式会社 コーポレートコミュニケーション室 電話: 03-6268-7111